ONKYO

WAVIO
WAVIO AV SYSTEM

GX-D90
POWERED SPEAKER SYSTEM

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

特長

カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

■ ウーファー（低音再生用スピーカー）には、高級機にも採用しているOMF(Onkyo Micro Fiber)ダイヤフラムを採用しています。
独自の素材と成形方法によって、振動板に要求される条件(軽量/高剛性/適度な内部ロス）を最適にバランスさせ、 雑音の低減、トランジェント(過渡特性)を向上させています。
また、新開発マルチアームダンパーにより、微小入力の応答性にすぐれ、不要な放射音を軽減しています。

■ ツィーター（高音再生用スピーカー)は、独自の技術により90kHzまでの再生を可能とし、微妙なニュアンスまでも表現します。

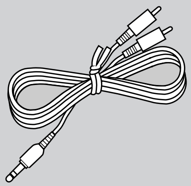
■ アナログ×1/デジタル×2の3系統の入力を備え、オーディオ機器やコンピューターのモニターとして多用に活躍。

■ デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する新回路、「VLSC(Vector Linear Shaping Circuitry)」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現。

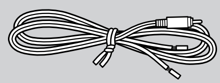
● WAVIO®の名称、ロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。　● OMF®の名称、ロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。
● VLSCの名称、ロゴはオンキヨー（株）の商標です。

付属品

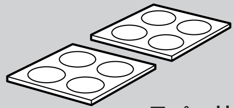
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表わしています。



● アナログ入力用接続コードA（1）
〔ステレオピンプラグ⇔ステレオミニプラグ（1.5m)〕



● Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コードB（1）
（モノラルピンプラグ⇔スピーカーコード）



●スペーサー(8)

●保証書（1）
●取扱説明書（本書1）

防磁設計について

一般にパソコンやカラーテレビに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどのデリケートなものですので、ふつうのスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、(社)電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、パソコンモニターなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置の仕方によっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度パソコンモニターなどの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。パソコンモニターなどの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合にはスピーカーをパソコンモニターなどから少しはなしてご使用ください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと、本機との相互作用によりパソコンモニターなどに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。

お手入れについて

キャビネットは、時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをおつかいになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



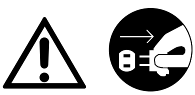


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

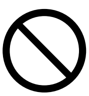
■絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない



分解禁止

● 本機の裏ぶたは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■100V以外の電圧で使用しない



● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

GX-D90(SN 29343369B) 3 02.9.26, 2:02 PM

■放熱を妨げない

● 本機を専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
● 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■中に物を入れない

● 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜いてください

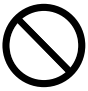
⚠注意

■設置上の注意

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続コード、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下・転倒の危険やコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
● スピーカーコードの配線に注意してください。スピーカーコードを足に引っかけると転倒したり、スピーカーが倒れて危険です。特にスピーカースタンドを使用したとき、高いところに置いたとき、壁に掛けたときなど、特にご注意ください。

GX-D90(SN 29343369B) 4 02.9.26, 2:02 PM

■次のような場所に置かない



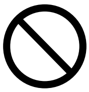
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続について



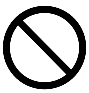
- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■使用上の注意

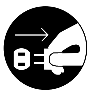


- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源コード、電源プラグの注意



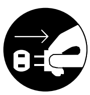
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■点検について



電源プラグをコンセントから抜いてください

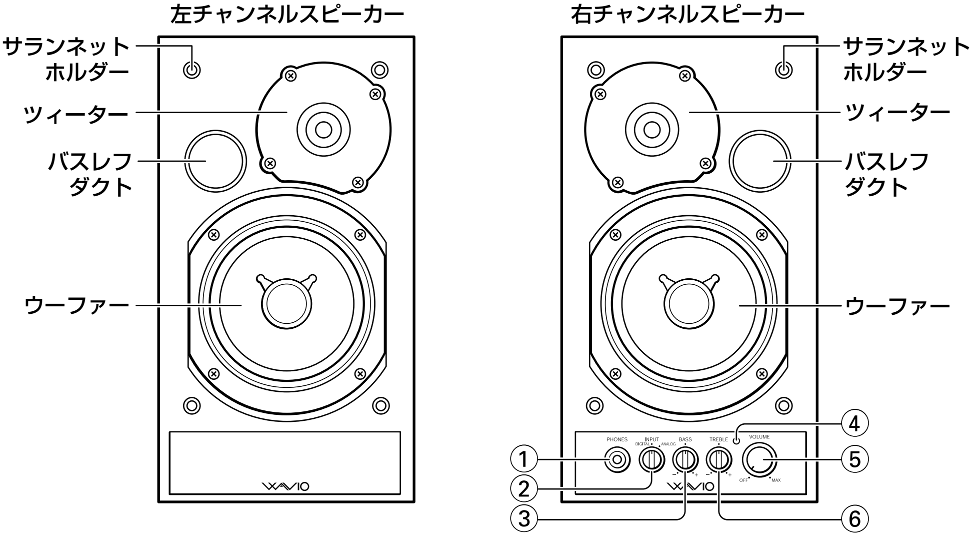
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

各部の名前と主な働き

■前面パネル



① ヘッドホン端子（PHONES）
ヘッドホンやイヤホンを接続します。接続するとスピーカーからの音は聞こえなくなります。

② 入力切換ツマミ（INPUT）
アナログ入力とデジタル入力の切り換えを行います。光デジタル(OPTICAL)と同軸デジタル(COAXIAL)の入力切り換えは背面パネルのセレクタースイッチで行います。

③ バスツマミ（BASS）
低音部の再生レベルを調整します。
ツマミを右に回すと、再生レベルが大きくなり、左に回すと小さくなります。
中央の位置がフラットです。

④ パワーインジケーター（POWER）
背面の主電源スイッチを「ON」にすると点灯します。

⑤ スタンバイスイッチ/ボリュームツマミ（STANDBY/VOLUME）
スタンバイスイッチとボリューム(音量調整)を兼用しています。ツマミを右に回すと電源が入り、徐々に音量レベルが大きくなります。ツマミを左いっぱい(OFFの位置)に戻すとスタンバイ状態になります。

ご注意
スタンバイ状態でも、背面パネルの主電源スイッチがONになっていますと回路には電流が流れています。そのため、背面のパネル部が熱くなりますが異常ではありません。

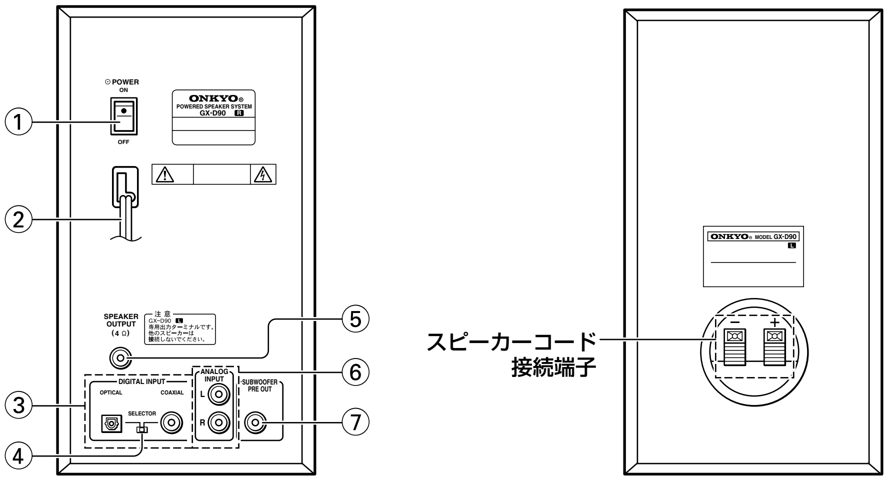
⑥ トレブルツマミ（TREBLE）
高音部の再生レベルを調整します。
ツマミを右に回すと、再生レベルが大きくなり、左に回すと小さくなります。
中央の位置がフラットです。

スピーカーユニット(ウーファー、ツィーター)部には触れないでください。
特に本機のツィーターの振動板には非常にデリケートな材料が使われています。物があたったり、手で触れると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

GX-D90(SN 29343369B) 6 02.9.26, 2:02 PM

■背面パネル

右チャンネルスピーカー　　　　左チャンネルスピーカー



① 主電源スイッチ（POWER）

内蔵アンプの電源スイッチです。「ON」にすると、前面のパワーインジケーターが赤く点灯します。（パワーインジケーターは前面のスタンバイスイッチが「OFF」以外の場合は、緑で点灯します。）

長期間本機を使用しない場合には、この主電源スイッチを「OFF」にしてください。

② 電源コード

③ デジタル信号入力端子 (DIGITAL INPUT)

OPTICAL：光デジタル信号の入力用接続端子です。オーディオ用光デジタルケーブルを使用してください。(本機には付属していません)

COAXIAL：同軸デジタル信号の入力用接続端子です。同軸ケーブルを使用してください。(本機には付属していません)

ご注意

本機はドルビーデジタル、DTS、AAC信号には、対応していません。

④ デジタル入力セレクタースイッチ (SELECTOR)

デジタル入力信号(OPTICAL/COAXIAL)の切り換えを行います。

⑤ 左チャンネル用スピーカー出力端子 (SPEAKER OUTPUT)

左チャンネルのスピーカーと接続するための端子です。必ず付属のRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を使用してください。

⑥ アナログ信号入力端子(ANALOG INPUT)

アナログ信号の入力用接続端子です。付属のアナログ入力用接続コード(A)を使用してください。

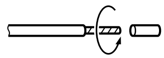
⑦ サブウーファー出力端子 (SUBWOOFER PREOUT)

本機とお手持ちのアンプ内蔵サブウーファーとを接続するための端子です。

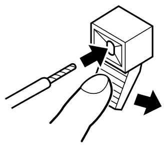
左右のスピーカーを接続する

付属のRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)で左チャンネルスピーカーと右チャンネルスピーカーを接続します。

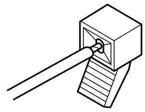
1.ビニールカバーをはずし、コード先端のしん線部をよじります。

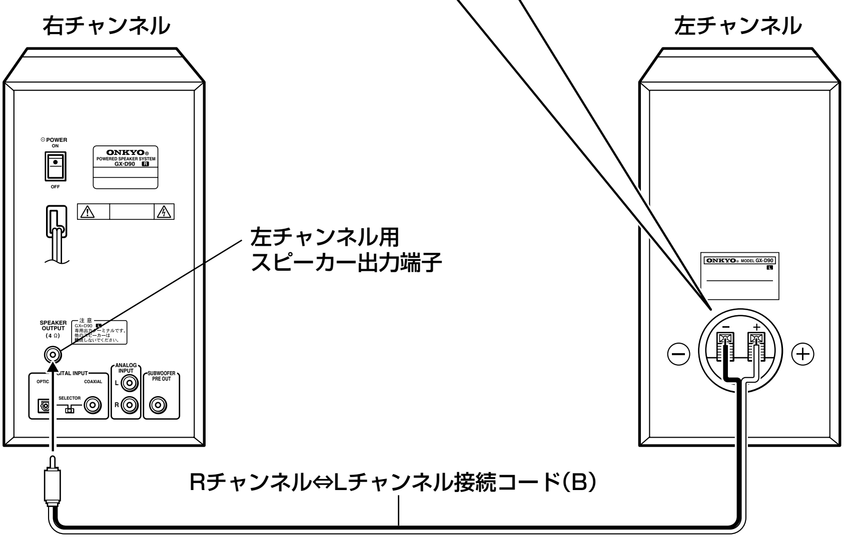


2.スピーカー端子のレバーを押しながら、コードの先端を奥までしっかりと差し込みます。
(黒一色の線を黒色のマイナス(−)側端子に接続します。)



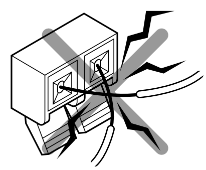
3.指を離すとレバーが戻ります。
コードを軽く引っ張ってみて、確実に接続されているかどうか確認してください。





ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れる前には、必ずボリュームツマミを左に回して「OFF」の位置にしておいてください。また、本機に接続する他機の電源も入れないでください。
- 「左チャンネル用スピーカー出力端子」は左チャンネルスピーカーを接続する専用の端子です。他のスピーカーやアンプは接続しないでください。
- スピーカーコードの接続は、しん線部が隣の端子や金属部に触れていないかよく確認してください。接触したまま動作させると右チャンネルスピーカー内蔵アンプの故障の原因となります。

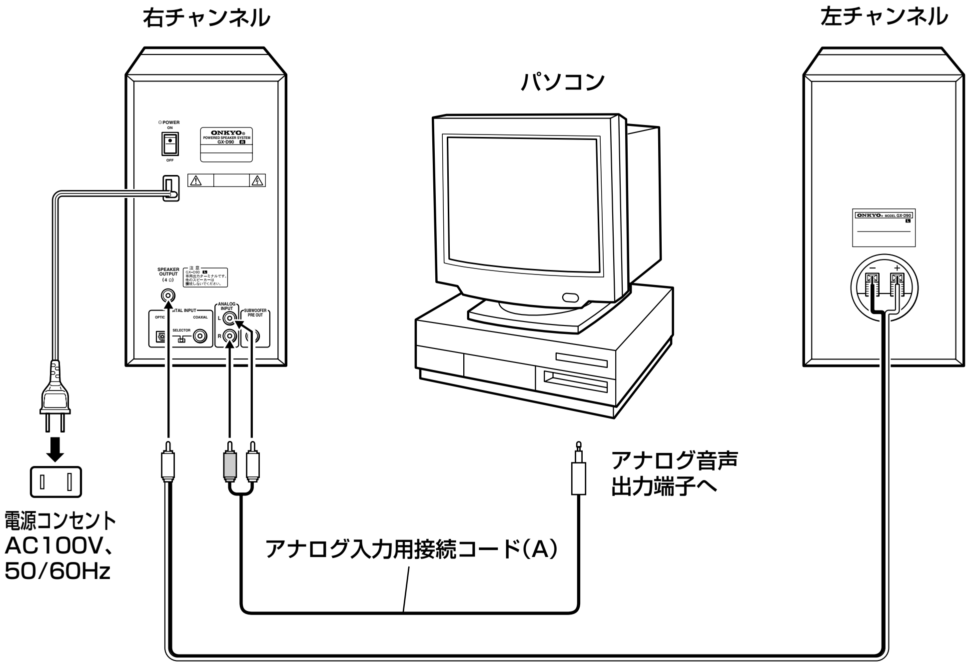


外部機器との接続のしかた

本機には2種類(光/同軸)のデジタル音声入力端子とアナログのライン入力端子があり、最大で3種類の音声機器やPC(コンピューター)機器を接続することができます。

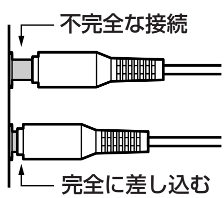
■アナログ入力を接続する場合

オーディオ機器、コンピューター本体またはサウンドボードのアナログ音声出力端子と本機のアナログ入力端子(ANALOG)を付属のアナログ入力用接続コード(A)で接続します。(R端子には赤いプラグを、L端子には白いプラグを差し込んでください)



ご注意

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。
- 付属のアナログ入力用接続コード(A)、Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)、電源コードは、いっしょに束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



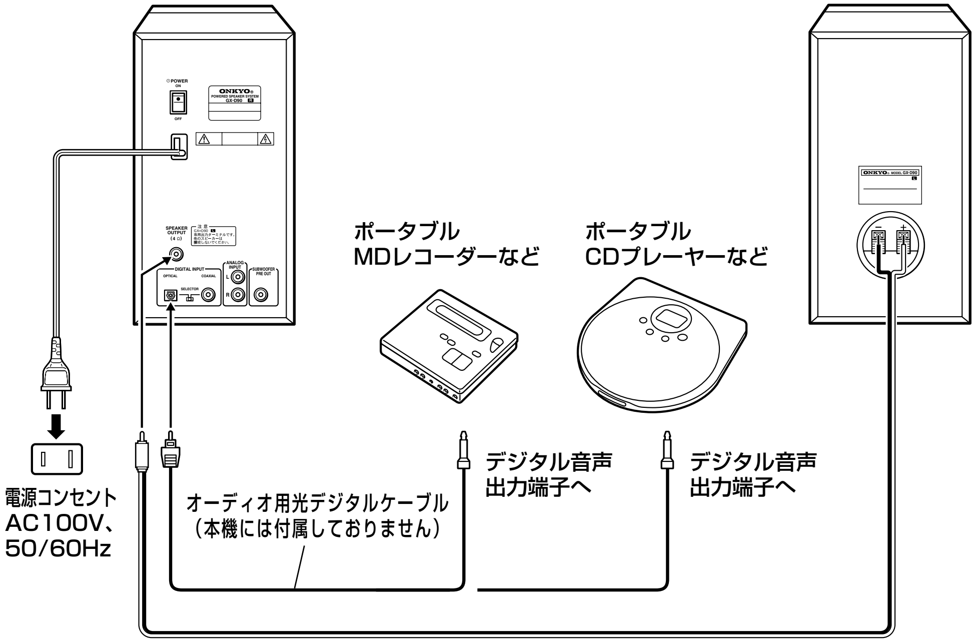
外部機器との接続のしかた

■デジタル入力を接続する場合

オーディオ機器、コンピューター本体またはサウンドボードのデジタル音声出力端子と本機のデジタル入力端子を接続します。

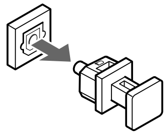
接続する機器に光デジタル出力端子がある場合はOPTICAL端子に、同軸デジタル出力端子がある場合はCOAXIAL端子にそれぞれの専用接続コードを用いて接続します。（専用接続コードは本機に付属していません。）

- 両方のデジタル出力端子を備えている場合は、どちらか一方でかまいません。
- デジタル入出力端子からのデジタル信号は、L/R両チャンネルが1本の接続コードで通信されます。



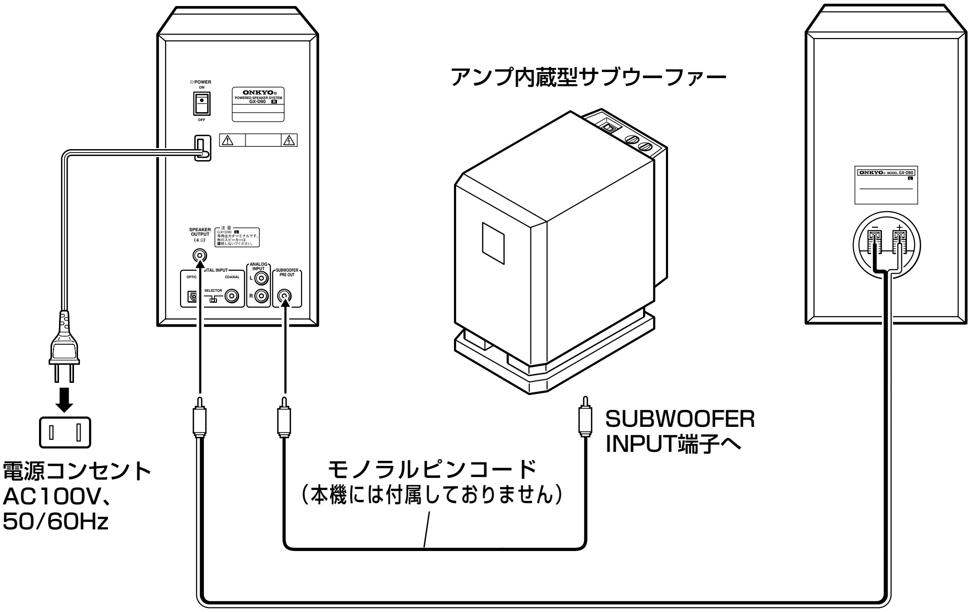
ご注意

- OPTICAL端子には、保護用キャップが取りつけられています。
  接続時は、このキャップを取り外してください。
  使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取りつけておいてください。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



サブウーファーとの接続のしかた

本機のサブウーファー出力端子(SUBWOOFER PRE OUT)の出力は、左右の信号をミックスした信号で高域成分を含んでいます。
接続するサブウーファー(スーパーウーファー)は、ハイカットフィルター及び、ボリューム内蔵のものを接続してください。また、サブウーファーは、メーカー、機種により入力感度が異なります。
ご使用になるサブウーファーによりレベルを調整し、お楽しみください。

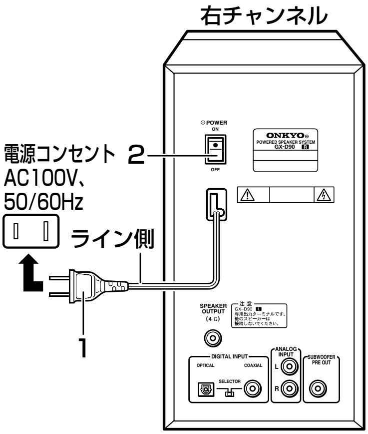


ご注意

- サブウーファー出力端子(SUBWOOFER PRE OUT)と、サブウーファーの入力端子をモノラルピンコードで接続してください。(本機には付属していません。)
- 電源を入れる前に、サブウーファーのボリュームを必ず最小の位置にしておいてください。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

電源を入れる

すべての接続が完了してから、右チャンネルスピーカーの電源プラグをコンセントに接続してください。



1.電源コードをつなぐ

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

！ヒント

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。
電源コードの片側にラインの入っている側を家庭用電源コンセントの溝が長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらに接続してもかまいません。

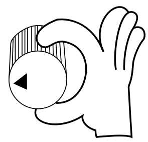
2.電源を入れる

背面パネルの主電源スイッチを「ON」側にしてください。
前面のパワーインジケーターが赤色に点灯します。

- 前面のスタンバイスイッチ/ボリュームツマミ(STANDBY/VOLUME)を右に回すと電源が入り、パワーインジケーターが緑色に点灯します。

♪音のエチケット

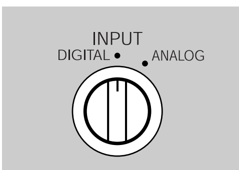
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



入力を切り換える

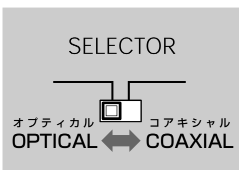
背面の各入力端子に接続された機器を選択します。

●アナログ / デジタルの切り換え



前面の入力切換ツマミ(INPUT)で、アナログ機器/デジタル機器の切り換えを行います。

●デジタル機器の切り換え

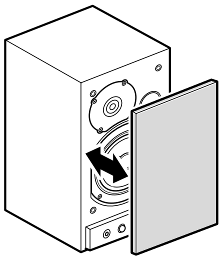


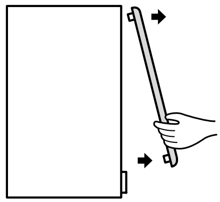
背面のデジタル入力セレクタースイッチ(SELECTOR)で、光デジタル/同軸デジタル入力(OPTICAL/COAXIAL)の切り換えを行います。

サランネットの着脱

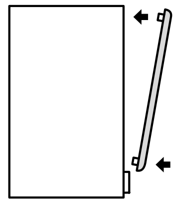
本機は前面のサランネットを取外すことができます。サランネットを付けたり、外したりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側を外します。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体から外れます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネットホルダーに合わせて押し込みます。





取りはずし



取り付け

設置について

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房器具の近く、湿気の多いところは避けてください。
- 本機に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。スピーカー本体だけでなく、本機に内蔵のアンプや接続している機器が故障する原因となります。
- 振動や傾斜のないしっかりとしたところにおいてください。
- 本機は立てた状態で使用されるように設計されておりますので、寝かせたり、傾けたりしないでください。
- 本機は通常のご使用には十分耐えられますが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますので、ご注意ください。
  ① オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
  ② ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
  （抜き差し時は必ず本機の電源を切ってから行ってください。）
  ③ マイク使用時のハウリング
- スピーカーと設置場所との間は面接触より点接触のほうが一般的によい結果が得られます。またガタツキがあると質の良い低音が得られなくなりますので付属のスペーサーやコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。
- 本機の背面部はご使用の状況により、高温になることがあります。カーテンなどの可燃物への接触や、火傷にご注意ください。

ご注意

- 低域や高域を極端にブースト（増強）したり、低域や高域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音を発生する場合があります。これは、故障ではありませんが、このような状態で長時間ご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので、音量を下げてご使用ください。
- 本機のデジタル信号入力端子はステレオ信号のみに対応しています。ドルビーデジタル、DTS、AAC信号などは再生しないでください。本機のアンプやスピーカーユニットが故障する原因となります。

GX-D90(SN 29343369B) 13 02.9.26, 2:02 PM

困ったときは

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処置をしても直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いて、「お名前」「おところ」「電話番号」「セット型名 GX-D90」「故障状況」をできるだけ詳しく当社サービスステーションまでご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	● 電源プラグの差し込みが不完全。	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。（12ページ）
音が出ない。	● ボリュームツマミが最小になっている。 ● アナログ入力用接続コード（A）やRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード（B）の接続が不完全。 ● 入力切り換えが切り換わっていない。	● 適当な音量にしてください。（12ページ） ● アナログ入力用接続コード(A)やRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を正しく接続してください。(8〜11ページ) ● アナログ/デジタルまたはOPTICAL/CO-AXIALの切り換えを行ってください。（12ページ）
音が小さい。	● ボリュームツマミの位置が不適切。	● 正しい位置にあわせてください。（12ページ）
片方のスピーカーからしか音が出ない。	● 接続が不完全。 ● 接続した機器のモノラル出力端子からモノラルピンコードで接続している。 ● Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)の接続が不完全。 ● アナログ入力端子への接続が不完全。	● アナログ入力用接続コード(A)を正しく接続してください。(9〜11ページ) ● Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を正しく接続してください。(8ページ) ● モノ→ステレオ変換アダプターを別途購入してください。 ● Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を正しく接続してください。 ● アナログ入力用接続コード(A)を正しく接続してください。
ブーンというハム音が入る。	●テレビ等からの誘導雑音。 ● アナログ入力端子の接続が不完全。	● 雑音源より離してください。 ● アナログ入力用接続コード(A)を正しく接続してください。

主な仕様

形式：
　アンプ内蔵2ウェイ･バスレフ型（右チャンネル）
　2ウェイ・バスレフ型（左チャンネル）
定格周波数範囲　48Hz-90kHz
クロスオーバー周波数　10kHz
最大出力　15W+15W（4Ω）
入力インピーダンス　47kΩ以上
使用スピーカー
　ウーファー：9cmOMFコーン
　ツィーター：2cmバランスドーム
デジタルINサンプリング周波数
　32、44.1、48、96kHz/24bit対応
電源　100V（50/60Hz）
消費電力　34W

入出力端子
　デジタル入力×2（光1/同軸1）
　アナログ入力×1（RCAステレオ/金メッキ）
　サブウーファー出力×1（RCAモノ）
　ヘッドホン出力端子×1
　（φ3.5mm/ステレオ/金メッキ）
外形寸法：
　Rch 123(W)×229(H)×195(D)
　Lch 123(W)×229(H)×178(D)
質量： Rch　3.2kg
　　　Lch　1.7kg
その他：防磁設計（EIAJ）
　　　サランネット脱着可

仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　(土日祝、弊社休日除く) ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail： ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル　0570-01-8111(全国どこからでも市内料金で通話いただけます) または072-831-8111(携帯電話、PHSから)へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口　修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619
〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330
〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

栃木・群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137
〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・茨城地区
千葉サービスステーション
TEL 043-296-3915　FAX 043-296-3912
〒262-0033　千葉市花見川区幕張本郷5-2-11

東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124
〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3 ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312
〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603
〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331
〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604
〒552-0013　大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571
〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672
〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358
〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-7091
〒424-0063　静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768
〒910-0001　福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840
〒703-8271　岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475
〒862-0970　熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195
〒901-2104　沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2002年6月現在　お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

H

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　GX-D90
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/
http://www.wavio.net/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343369B

G0210-3